

# 愛ランド通信

～人と動物の共生を目指して～ 平成27年度夏号



## 「人と動物、みんなが仲良く暮らせるまちへ！」



京都動物愛護センター(愛称:動物愛ランド・京都)が、京都市南区上鳥羽公園内にオープンしました。5月2日のオープニングイベントの様相をレポートします。

特集

動物愛ランド・京都 2015 OPEN 5月

### オープニングイベント

### 式典 門川大作京都市長、山内修一京都府副知事、杉本彩名誉センター長を迎え盛大に！！

門川大作市長はこの日も和服姿に身を包み、終始にこにこされていました。センター設立の経緯を話され「郊外でなく街中にある。ボランティアが関われる。動物病院もある。」そんなセンターを目指したとのこと。京都では昨年「京都動物愛護憲章」が制定されましたが、このセンターをまた新たな拠点として、京都をさらに「人も動物も幸せに共生できるまちにしたい」という熱い思いが伝わってきました。

山田啓二京都府知事から御挨拶していただける予定でしたが、急な公務による欠席のため、山内修一副知事が代わりに御挨拶されました。センターのふれあい広場などを活用した、動物愛護教室や犬猫の里親捜しなどの取組を通じて、生命の大切さを広く府民・市民の皆様へ御理解いただくとともに、一頭でも多くの動物たちの命をつなぐ取組を進めて参りたいとお話しになりました。

杉本彩さんは御自身でも動物愛護活動をされています。この度、京都動物愛護センター名誉センター長に就任され、「動物の命を守れるかどうかは私たちの心にかかっています。いろいろな問題があっても、皆で取り組めば殺処分もゼロに近づかず。京都が日本一動物に優しいまちであるだけでなく、世界の基準に達するようにお手伝いしていきます。」と素敵なやさしい笑顔でお話しになりました。

京都が日本一動物に優しいまちであるだけでなく、世界の基準に達するようにお手伝いしていきます！



▲杉本彩名誉センター長

このセンターは市と府が共同で運営する動物愛護施設。行政・住民・獣医師会・ボランティアが連携できる、動物と人が共生するうれしいおのがある豊かなまちを目指していきます。



▲門川大作京都市長

人と動物の共生による、うれしいおのがある豊かな社会の実現に取り組んでまいりますので引き続き、皆様方のご支援御協力をお願い申し上げます。



▲山内修一京都府副知事

センター設立に貢献された篤志者の皆さんには感謝状が授与されました。多額の寄附をされた細木数子氏、医療機器の提供及び今後センター内で京都夜間動物救急センターを開設される京都市獣医師会、ペットフードの提供、そして世界から殺処分をなくし譲渡制度を広めようとして取り組んでおられる日本ヒルズ・コルゲート株式会社です。

また、センターにおける譲渡犬へのトレーニング(京都方式)を監修されている山本央子先生へ「京都市収容動物総合評価者」の称号が授与され、最後にセンターの建設に携わった株式会社古瀬組へ感謝状が渡されて式典が終了しました。

### イベント 上鳥羽六斎念仏 ネギトバちゃん登場

式典のあと、地元の鳥羽自治連合会・上鳥羽六斎ジュニアの皆さんによる「上鳥羽六斎念仏」が披露されました。また、上鳥羽の特産品「九条ねぎ」のゆるキャラ「ネギトバちゃん」も登場し、イベントを盛り上げてくれました。(TM)



### 予防したい★この季節の感染症

春から秋に発生するノミやダニ。犬がノミやダニにかまれると、かゆくなるだけでなく、アレルギー性の皮膚炎や犬糸虫(サナダムシ)などの寄生虫に感染する原因にもなるので、予防・駆除が大切です。

動物病院で処方される「動物用医薬品」は、シャンプー後でも効果が持続し、十分な駆除効果が期待できます。また、ノミやダニは気温が下がると活動性が低下しますが、冬でも一定の割合で寄生していることが報告されているため、注意が必要です。動物病院での予防薬の処方は、月に一度など定期的に行われるので、予防薬の処方を受けるタイミングで犬の定期健診を受けてみてはいかがでしょうか。

あなたと愛犬が楽しい時間を1日でも長く過ごせるよう、普段から愛犬の健康管理も兼ねて、動物病院を気軽に利用してみてはいかがでしょうか。

(DON)



### 犬&猫の飼い方 夏に気をつけること

#### 犬は人間より暑いのが苦手

犬の体温は人間より2~3℃高く、体温を下げるための汗腺が肉球以外ほとんどありません。また、体が被毛に覆われているので体温がこもりやすく、人間の感覚で「暑い」は犬にとって「ひどく暑い」ということも覚えておきたいですね。気温が高くなるこの季節の散歩は、比較的涼しい早朝か日が沈んでからの時間帯がいいでしょう。夏場の日中は地面からの照り返しが強く、地面から近い犬にとって過酷な暑さです。また、真夏のアスファルトは肉球が火傷する恐れもありますので、地面を手で触って熱いと感じる時間帯の散歩は避けましょう。

日中、犬に家の留守番をさせる時は、室内の温度や湿度にも気をつけたいですね。犬が快適に過ごせる室温は25℃前後、湿度50%前後です。特に部屋の湿度が高いと熱中症になりやすいので、エアコンのドライ機能等を利用して温度や湿度の管理に気をつけましょう。また、自動車の車内も同様、たとえ短時間であっても温度上昇が激しいので、犬を待たせておかないように気をつけましょう。

この季節、人間も犬や猫にも水分補給は忘れずに！

### インタビュー

センターから譲渡されたワンコその後、どうしてますか？

### 家族に迎えて



▲鹿野八重子さんとパピヨンのマックくん

### 誰にでもフレンドリーなアイドル

鹿野八重子さんは、京都動物愛護センターから犬を譲り受けました。推定年齢5~7歳のマックくんです。鹿野さんにお話を聞きました。



▲くつろぐマックくん

「マックと出会ったのは、昨年12月。センター(旧家庭動物相談所)から譲ってもらったダックスフントを昨年11月21日に亡くしたばかりでしたが、やはり犬が欲しくて・・・センターに行ったらこの子がいて、すぐに譲渡を希望しました。でも、家に連れて帰るのは、もう少し先にしようと思っていたんです。

前の子が亡くなって、まだ1ヶ月も経っていなかったことと、お坊さんである息子さんからも、「お母さん、四十九日が済んでからにしたら」と言われていたからです。そんな鹿野さんの背中を押したのは、当時の所長のひとことでした。「新しい家族として、この子と一緒に正月を迎えてはいかがですか」と言ってくれはったんです。もう、それで決まりですわ(笑)1年も押し詰まった12月26日、めでたく鹿野家の一員となったマックくん。推定年齢5~7歳ですが、

新しい環境にもすぐに慣れ、人にも他の犬にもフレンドリーな良い子です。家の前が公園ということもあり、毎日のお散歩コースになっています。公園などで知り合ったお友達は、20匹以上という人気者。みんなから愛されて、マックくんは今日もご機嫌さんです。(nasubi)

### お知らせ

#### 京都夜間動物救急センターが開設されました!!

場所: 京都動物愛護センター内  
時間: PM9時30分~AM2時 電話: 075-693-9912  
来院前には必ずお電話下さい

京都動物愛護センターが待ちに待ったオープンの日を迎えました。人と動物が新しく出会い、共に楽しみ、幸せあふれる「愛ランド」になりますように。(T.M)  
センター開所日は大勢の方で賑わい、ボランティアスタッフの士気も高まりました。機関誌も本誌で3号目。一人でも多くの方に読んでもらえるよう頑張っています。ご意見をお寄せ下さい。(M.I)

本誌は京都市人と動物が共生できるまちづくり基金からも出資していただいています。まちづくり基金に寄附していただいた方の御名前はホームページにて公開いたします。なお寄附の方法についても、こちらのホームページでご覧いただけます。  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000147255.html>

### センターへのアクセス

近鉄十条駅から徒歩5分  
京都市営地下鉄烏丸線  
十条駅から徒歩15分  
京都市営バス十条大宮  
停留所から徒歩5分



※無料駐車場はございません  
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地  
電話 075-671-0336 FAX 075-671-0338  
開所時間 午前9時~午後5時

休所日 木曜日(祝日の場合は翌金曜日)、年末年始

発行: 京都動物愛護センター

平成27年7月24日